

正 誤 表

「健康・栄養科学シリーズ 臨床医学（第2刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

| 頁 | 該当箇所 | 誤 | 正 |
|-----|--------------|---|---|
| 86 | 下から2行目 | 神経症 | 神経障害 |
| 87 | 4行目 | 神経症 | 神経障害 |
| 87 | 下から5行目 | 75g 経口グルコース負荷試験 | 75g経口ブドウ糖負荷試験 |
| 99 | 下から5行目 | 食事療法（飲酒含む） | 食事療法（飲酒制限含む） |
| 102 | 1行目 | 必須脂肪酸 | 必須アミノ酸 |
| 273 | 脇組 TIBC の4行目 | TIBC は血中で鉄に結合できるトランスフェリンの総量を示し、 UIBC は鉄と結合していないトランスフェリンの量を示す | TIBC は血中でトランスフェリンに結合する鉄の総量を示し、UIBC は鉄と結合していないトランスフェリンに結合する鉄量を示す |
| 278 | 19行目 | 溶血性貧血には、先天性と後天性があり、先天性溶血性貧血には遺 伝性球状赤血球症、サラセミアなどがあり、後天性溶血性貧血には 機械的な原因、免疫性、発作性夜間血色素尿症などがある。そのな かで、37℃の環境において赤血球に結合する温式抗体による自己免 疫性溶血性貧血が最も多い | 溶血性貧血の原因は、先天性と後天性を含め多くみられるが、最も 多いのは、37℃の環境において赤血球に結合する温式抗体による自 己免疫性溶血性貧血である |

2021年9月10日

株式会社南江堂